# 授業科目　カウンセリング論

| 【担当教員名】 | 対象学年 | 2 | 対象学科 | 視機 |
|---|---|---|---|---|
| 片山　さゆ | 開講時期 | 後期 | 必修選択 | 必修 |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |

【ディプロマポリシーとの関連性】

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|---|---|---|---|---|
| ◎ | ○ | ○ | | |

【概要・一般目標：GIO】

保健・医療・福祉におけるカウンセリングの意義を理解した上で心の相談のための面接（広義のカウンセリング）について学ぶ。面接法についての理解を深め、カウンセリングの基本を習得することを目的としている。具体的には心の相談を受ける際の基本的態度や技法を身につけ、来談者の訴えを「分かること」や深い悩みを「受け止めること」が実践できるようになることを目指す。

【学習目標・行動目標：SBO】

1　カウンセリングの基礎を理解できる
2　カウンセリングとは何かを理解できる
3　カウンセリングの理論を理解できる
4　カウンセリングの方法論を理解できる
5　カウンセリングと心理テストの関係を理解できる
6　カウンセリングの実習を通して心の問題を理解できる

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | SBO番号 | 学習方法・学習課題<br>備考・担当教員 |
|---|---|---|---|
| 1 | カウンセリングの世界（自分を知ること、他者を知ること） | 1.2 | 講義 |
| 2 | カウンセリングとは何か | 2 | 講義 |
| 3 | カウンセリングの取り組み | 3 | 講義 |
| 4 | 受理面接、コンサルテーション、スーパービジョン | 3 | 講義 |
| 5 | カウンセリングの理論と方法論（１）―クライエント中心カウンセリング― | 3.4 | 講義 |
| 6 | クライエント中心カウンセリングによる人間理解 | 3.4 | 講義 |
| 7 | クライエント中心カウンセリングによる実習―コミュニケーションレッスン― | 3.4 | 演習 |
| 8 | クライエント中心カウンセリングによる実習―グループエンカウンター― | 3.4 | 演習 |
| 9 | カウンセリングの理論と方法論（２）―行動カウンセリング― | 3.4 | 講義 |
| 10 | 認知行動カウンセリング | 3.4 | 講義 |
| 11 | 認知行動カウンセリング―セルフモニタリング― | 3.4 | 演習 |
| 12 | 精神分析的カウンセリング | 3.4 | 講義 |
| 13 | カウンセリングと心理テスト（心理テストの意義と役割） | 5 | 講義 |
| 14 | カウンセリングにおける心理テスト | 6 | 演習 |
| 15 | 心理テストの種類 | 5 | 講義 |

| 【使用図書】 | ＜書名＞ | ＜著者名＞ | ＜発行所＞ | ＜発行年・価格 他＞ |
|---|---|---|---|---|
| 教科書<br>（必ず購入する書籍） | カウンセリングと心理テスト | 林潔瀧、本孝雄、鈴木乙史 | おうふう社 | 2012・1,900 円 |
| 参考書 | やさしく学ぶカウンセリング 26 のレッスン | 長尾博 | 金子書房 | 2010・2,000 円 |
| その他の資料 | | | | |

【評価方法】

テストと授業態度で総合評価する。

【履修上の留意点】